

2006年3月期 決算説明会 データブック

シダックス株式会社
2006年6月1日

平成18年3月期 決算トピックス

連結範囲

[短信 2～4及び21ページ記載]

当期における連結範囲の変更はありません。連結子会社は11社となっております。
なお、前下期において新規連結となった子会社3社は、当期は通期の損益寄与となっております。

会計・税務関連

[短信 22～24ページ記載]

当期より固定資産の減損に係る会計基準を適用しております。
これにより、特別損失2,637百万円を計上しております。

グループ再編を機動的に実施するため、当期より連結納税制度を採用しております。

重要な資産の売却

[短信 25ページ記載]

連結子会社であるシダックス・コミュニティー(株)が保有する店舗の内装設備の一部5,805百万円を売却し、当該設備についてセールアンドリースバック契約を締結いたしました。これにより、総資産の圧縮を図ることができました。

当期の業績要約

[短信 8～10ページ記載]

マーケティング手法を活用した事業戦略の展開

- 1) フードサービス事業においては、全ての店舗をセグメントに細分し、きめ細かい収益管理に成果が現れました。
今後は、セグメント毎の運営管理手法を完成させます。
- 2) レストランカラオケ事業においては、携帯電話を活用した会員サービスを開始し、新規のお客様とリピーターのお客様の集客により、売上回復を果たすことができました。当期は100万人の会員獲得を目標とします。
- 3) エスロジックス事業においては、セグメントに対応する標準メニューシステムと食材とが連動する仕組み作りが進捗しました。
今後は、フードサービス事業のチェーンオペレーション化へ発展させます。

経営基盤の強化

- 1) エスロジックス事業の仕組みが完成し、安心・安全な食材を安定して安価で調達することが一段と進展しました。
- 2) グループ間接部門の総合化が進んだ結果、販管費の適正化が進みました。
- 3) 資金調達の多様化により、総資産の圧縮と自己資本の充実を図り、財務基盤をより強固としました。

連結損益計算書とセグメント情報の増減説明

[短信 15～16ページ記載]

連結損益計算書

単位:百万円

	17年3月期	18年3月期	増減額	増減率
売上高	155,264	157,950	2,686	1.7%
経常利益	2,840	6,022	3,181	112.0%
当期純利益	127	607	480	375.9%

[短信 36～37ページ記載]

セグメント情報

外部売上高	17年3月期	18年3月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	9,638	5,203	4,434	46.0%
コントラクトフード事業	39,777	39,630	147	0.4%
メディカルフード事業	36,874	39,086	2,211	6.0%
レストランカラオケ事業	62,074	61,184	890	1.4%
コンビニエンス中食事業	5,983	11,815	5,831	-
その他事業	915	1,030	114	12.5%
計	155,264	157,950	2,686	1.7%

内部売上高	17年3月期	18年3月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	39,475	40,199	724	1.8%

営業利益	17年3月期	18年3月期	増減額	増減率
エスロジックス事業	1,932	2,553	621	32.2%
コントラクトフード事業	1,321	2,010	689	52.1%
メディカルフード事業	227	18	245	108.0%
レストランカラオケ事業	5,984	6,683	698	11.7%
コンビニエンス中食事業	97	214	116	119.5%
その他事業	471	412	59	12.6%
消去又は全社 HQ1st	5,078	4,279	798	15.7%
計	3,364	6,359	2,995	89.0%

売上高は1,579億円となり前期に比べて26億円の増収となりました。これは、前下期より連結子会社化され新たなセグメント区分として追加されたコンビニエンス中食事業58億円の増加、順調に新規獲得が進んでいるメディカルフードサービス事業22億円の増加によります。なお、エスロジックス事業の外部売上高の減少は食材外販事業の一部営業譲渡によるものであり、一元物流の導入が進む内部売上高は順調に伸びております。

営業利益は63億円となり前期に比べて29億円、経常利益は60億円となり前期末に比べて31億円それぞれ増益となりました。これは、当社グループの食材購買事業において、標準メニューシステムと連動する統一食材の調達の仕事が進捗したことで、食材原価の低減が一段と進捗し、同時に各事業子会社に分散していた販売促進企画などの共通機能を集約し、専門ノウハウの相互活用による生産性及び運営能力の向上を果たし、同時に間接費の削減を実現したことによります。

当期純利益は6億円となりました。これは、特別損失として計上した減損損失26億円と店舗保証金の流動化による損失1億円強によるものであります。税効果適用後の法人税等の税負担率は、81.9%となりました。

連結貸借対照表の増減説明

[短信 13～14ページ記載]

連結貸借対照表

	17年3月期	18年3月期	増減額
現金預金	12,753	19,454	6,700
売上債権	9,276	9,130	145
その他流動資産	5,031	4,544	486
有形固定資産	40,760	30,237	10,523
保証金等	11,950	11,501	449
その他固定資産	12,106	10,262	184
資産計	91,878	85,131	6,746

単位:百万円

	17年3月期	18年3月期	増減額
仕入債務	9,357	9,255	102
長短借入金	37,657	31,039	6,618
その他負債	15,153	15,117	35
少数株主持分	285	373	87
資本	29,424	29,345	78
負債資本計	91,878	85,131	6,746
自己資本比率	32.0%	34.5%	

総資産は851億円となり前期末に比べて67億円減少となりました。また、自己資本比率は34.5%と前期末より2.5%改善しました。今期においても、貸借対照表のコントロールにおいては総資産の圧縮と有利子負債の削減、及び自己資本比率30%維持を目標としておりましたが、いづれも達成することが出来ました。

流動資産は331億円となり前期末に比べて60億円の増加、固定資産は520億円となり前期末に比べて128億円の減少となりました。流動資産の増加は、営業活動の順調な推移と、固定資産の売却等により現金及び預金が67億円増加したことによります。固定資産の減少は、レストランカラオケ事業出店抑制及び店舗設備のセールアンドリースバック取引などにより有形固定資産が105億円、店舗保証金の流動化などにより投資その他の資産が21億円減少したことによります。

流動負債は336億円となり前期に比べて16億円の減少、固定負債は217億円となり前期に比べて51億円の減少となりました。流動負債の減少は、短期借入金7億円、設備等未払金が6億円それぞれ減少したことによります。固定負債の減少は、資金調達が多様化により長期借入金57億円減少したことなどによります。この結果、負債合計は554億円となり前期末に比べて67億円減少となりました。

少数株主持分は前下期よりシダックスアイ㈱を連結子会社化したことにより発生しております。

資本合計は293億円となり前期末に比べて78百万円減少となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の増減説明及び財政状態の説明

[短信 18～20ページ記載]

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	17年3月期	18年3月期	増減額
営業キャッシュ・フロー	4,412	8,637	4,224
投資キャッシュ・フロー	9,657	5,033	14,691
財務キャッシュ・フロー	2,915	6,970	9,886
現金・同等物	12,503	19,203	6,700

営業CFは86億円となり、前期に比べて得られた資金は42億円増加となりました。
これは、当期に特別損失として計上した減損損失26億円の影響を除いて比べた税金等調整前当期純利益が37億円増加したことが主な要因です。

投資CFは50億円となり、前期に比べて使用された資金は146億円減少となりました。
これは、レストランカラオケ事業の出店抑制による有形固定資産及び敷金、保証金等の支出が87億円減少、有形固定資産の売却による収入が62億円増加したことなどが主な要因です。

財務CFは69億円の純支出となり、前期に比べて得られた資金は98億円減少となりました。
これは、借入金による収入が136億円減少、借入金の返済による支出が49億円減少及び社債発行による収入が24億円減少したことなどが主な要因です。

[短信 10～11ページ記載]

キャッシュ・フロー指標の推移

	17年3月期	18年3月期
自己資本比率(%)	32.0	34.5
時価ベースの自己資本比率(%)	33.4	64.6
債務償還年数(年)	8.6	3.7
インタレスト・カレッジ・レシオ(倍)	7.1	15.1

有利子負債残高の推移

単位:百万円

	17年3月期	18年3月期	増減額
長短借入金・社債	37,657	31,539	6,118
割賦未払金	305	0	305
未経過リース料期末残高相当額	12,140	15,123	2,983
合計	50,103	46,663	3,440

有利子負債残高は466億円となり前期末に比べて34億円減少となりました。
今後とも資金効率の向上を目指し、有利子負債残高の削減に努めてまいります。

平成19年3月期の通期連結業績予想

[短信 1及び8ページ記載]

単位:百万円

	18年3月期	19年3月期	増減額
売上高	157,950	171,000	13,049
経常利益	6,022	6,200	177
当期利益	607	700	92

- 売上高 前期より継続する既存事業につきましては、フードサービス事業は営業開発強化による新規契約獲得増加を見込みます。レストランカラオケ事業につきましては、既存店は前期並みを計画しております。また、当期より連結子会社となる、米国子会社は下期首より連結対象となります。
- 経常利益 エスロジックス事業において、食材原価低減の一段の進捗を計画しております。その他の事業の収益性は前期並みを計画します。当期はブランディング戦略の実行などによる戦略経費の支出を見込んでおります。
- 当期利益 レストランカラオケ事業は、前期及び前々期が非常に厳しい経営状況にあったため、主に2～3年内に出店した15店舗2.5億円の減損損失を見込んでおります。

セグメント別店舗数推移表

04年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加		56	8	8	4	3	9	88	14	6	12	7	7	13	147
	減少		9	9	7	5	2	9	41	5	10	7	4	14	81	162
	残	1,578	1,625	1,624	1,625	1,624	1,625	1,625	1,625	1,634	1,630	1,635	1,638	1,631	1,563	1,563
メディカル	増加		73	16	6	13	10	15	133	15	7	18	5	12	5	195
	減少		2	1	2	6	5	11	27	2	2	3	0	3	33	70
	残	599	670	685	689	696	701	705	705	718	723	738	743	752	724	724
レストランカラオケ	増加		2	1	1	3	2	4	13	3	1	4	0	3	8	32
	減少		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	残	250	252	253	254	257	259	263	263	265	266	270	270	273	281	281

05年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間期末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加	0	58	13	5	3	5	14	98	9	3	5	6	3	5	129
	減少	0	12	9	6	6	10	10	53	7	5	13	3	7	76	164
	残	1,626	1,672	1,676	1,675	1,672	1,667	1,671	1,671	1,673	1,671	1,663	1,666	1,662	1,591	1,591
メディカル	増加	0	101	7	22	10	7	14	161	22	13	11	9	10	8	234
	減少	0	3	0	5	3	3	8	22	5	3	1	5	3	57	96
	残	724	822	829	846	853	857	863	863	880	890	900	904	911	862	862
レストランカラオケ	増加	0	2	0	3	5	3	1	14	2	2	1	2	1	0	22
	減少	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	残	281	283	283	286	291	294	295	295	297	299	300	302	303	303	303

06年03月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
コトラク	増加	0	89	7	8	11	8	7	130	11	4	5	5	8	5	168
	減少	0	10	5	6	11	8	7	47	9	3	5	2	9	51	126
	残	1,591	1,670	1,672	1,674	1,674	1,674	1,674	1,674	1,676	1,677	1,677	1,680	1,679	1,633	1,633
メディカル	増加	0	83	16	17	12	15	8	151	13	12	9	5	0	4	194
	減少	0	3	3	10	5	10	7	38	8	13	9	7	4	49	128
	残	862	942	955	962	969	974	975	975	980	979	979	977	973	928	928
レストランカラオケ	増加	0	3	1	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	5
	減少	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	4	6
	残	303	306	307	307	306	306	306	306	306	306	306	306	306	302	302

レストランカラオケ事業 月次売上・客数推移

04年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	4,475,101	4,648,838	4,138,549	4,596,585	5,790,062	4,511,084	28,160,219	4,422,732	4,645,458	6,718,696	5,804,974	4,285,869	5,172,820	59,210,768
客数(千人)	3,012	3,148	2,942	3,197	3,936	3,181	19,416	3,069	3,160	4,018	3,744	3,012	3,683	40,102

05年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	4,955,481	5,243,091	4,381,813	5,183,878	5,773,957	4,844,375	30,382,595	4,788,684	4,473,242	7,130,475	5,938,189	3,990,591	5,375,255	62,079,031
客数(千人)	3,294	3,495	3,007	3,543	4,048	3,414	20,801	3,301	3,062	4,203	3,856	2,925	3,860	42,008

06年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間末	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
売上(千円)	5,151,814	5,057,459	4,430,087	5,333,377	5,603,894	4,659,870	30,236,501	4,687,878	4,347,649	6,921,812	5,580,396	3,939,507	5,476,709	61,190,451
客数(千人)	3,335	3,364	2,956	3,496	3,808	3,197	20,156	3,091	2,873	4,039	3,681	2,869	3,755	40,464